

## 安全で快適な農村環境の確保と防災・減災

大規模災害の発生リスクを低減させるため、長野県北部の地震での経験や東海地震、東南海・南海地震等に関する長野県地域防災計画を踏まえ、これまで実施してきた老朽化したため池や地すべり防止施設等の整備により被害の発生を防ぐ「防災」事業に加え、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方に基づくハード・ソフトが一体となった総合的な災害対策を推進します。

また、農山村地域の農業振興と定住促進や活性化など集落機能の維持に向けて必要な基幹農道や集落内の道路改良等の農村生活環境の整備を進めます。

### 【達成指標】

項目	平成22年度 (H18～H22)	平成29年度 (目標)	設定の考え方
農地等の安全確保面積	1,760ha	1,800ha	計画期間（H25～H29）内に対策工 事の完了をめざす危険区域の保全面積

### 【目指す5年後の姿】

- ◆豪雨や地震に対し、ため池や農業用水路の安全性が高まり、また、ソフト対策による災害時の被害軽減を図る取組が進むなど、農村地域の安全が確保されています。
- ◆農村生活環境の整備が進み、農作業の効率化が図られるとともに、農村地域の日常生活の利便性が向上しています。また、農村生活環境の整備に伴い、集落機能を維持するための定住促進や他地域との交流・連携による地域経済の活性化といった施策が各地で進められています。
- ◆ため池や農業用水路は、生態系や景観に配慮して整備されるとともに、水に親しめる施設の整備も進み、人々にやすらぎを与える水辺空間となり、地域住民等により適切な管理が行われています。

### 【展開する施策】

#### ● 総合的な防災対策の推進

- 豪雨や地震による決壊等の被害を未然に防止するため、老朽化したため池等の補強や改修を計画的に推進します。
- 脆弱な地質の地域で発生する地すべりを防止し、農地や農業集落及び道路・鉄道等の公共施設を災害から守るため、適切な地すべり防止施設の設置、補修を進めます。
- 地震防災対策強化地域の重要な農業水利施設について、地震に起因する損傷等による周辺地域への被害を防止するため、耐震改修を進めます。
- 降雨による農地の湛水を防止するため、排水機の補修、更新を進めます。
- 災害発生時の人的被害を軽減するため、ため池等の農業用施設や地すべり等による被害に関するハザードマップの作成を支援するとともに、防災情報伝達体制の整備を推進します。
- 農地の持つ洪水調節や土砂流出防止など国土保全機能が十分に発揮されるよう、市町村等と連携し、中山間地域等の農業生産活動を継続する体制整備や遊休農地の解消及び農業水利施設等の管理体制強化を進めます。

● **ため池や地すべり防止施設等の維持管理の徹底**

- 県内約 2,000 箇所のため池について、現況調査、危険度調査及び耐震性点検を行い、施設の台帳整備を進めます。
- 地すべり防止区域等の被害の軽減や再発防止のため、地すべり防止施設の適切な管理を実施します。
- 排水機場や頭首工などの施設管理者に対し、機械類の日常点検をはじめ故障時の対応や災害時の適切な操作技術の習得など、リスクマネジメントを行う研修・指導を実施します。

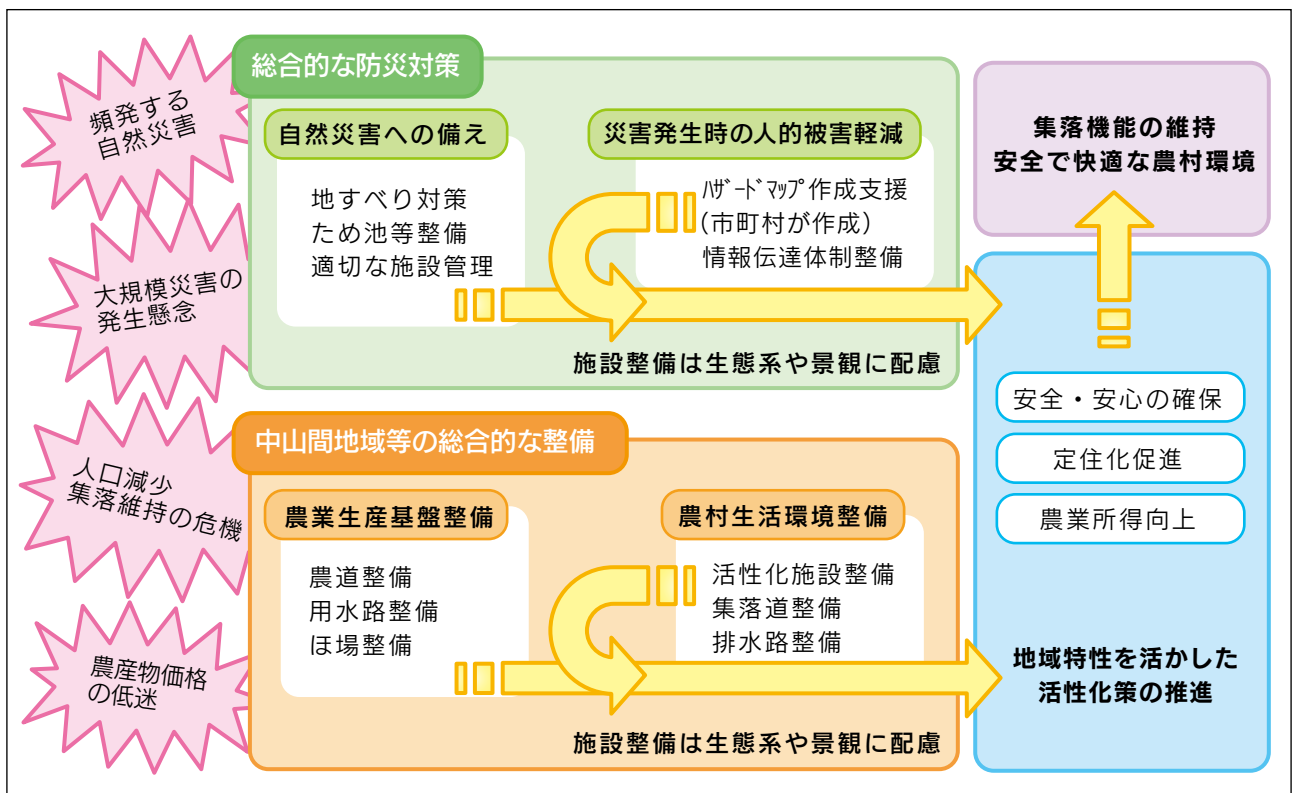
● **集落を維持するための地域特性に応じた生活環境整備の推進**

- 農産物の輸送の効率化を図るとともに、県の道路整備計画と整合を図りながら、地域交流を支える基幹農道の整備を計画的に進めます。
- 農山村地域の居住環境を改善し、集落機能を維持するため、農業生産基盤の整備や農業集落内の道路整備等の生活環境整備を総合的に進めます。

● **美しい農村景観や生態系保全への配慮**

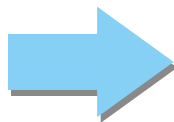
- 農業生産基盤や生活環境の整備は、必要に応じて石や木材等の地域の自然素材を利用した工法を採用するなど、生態系や景観等の環境保全に配慮して進めます。

**【安全・快適な農村環境づくり】**



## ♣ 『故郷』の安全な暮らしを確保し、資源を守る防災対策の推進

地すべり対策事業 梨久保地区 (中野市)

【地すべり  
対策工事】

中野市の梨久保地区は、童謡『故郷』の作詞者高野辰之の生家に近く、「兎追ひし彼の山」、「小鮎釣りし彼の川」と歌われた地域の山間にあります。この地域一帯は地質が脆弱なため、江戸末期頃から地すべりが発生しており、家屋等への被害が顕著となった昭和39年に地すべり防止区域に指定されました。以降、幾度となく対策工事を実施して集落の安全を確保してきました。近年では、平成22年7月に豪雨を起因とする地すべりにより、農地の崩落等の被害が発生し、家屋の倒壊や市道の崩落といった危険があったため、アンカー工や法砕工などの緊急対策工事を実施しました。この地域は傾斜地であるため営農の規模は決して大きくありませんが、農地は地域の重要な財産であるほか、特に水田（いわゆる棚田）は営農の継続と集落の人達の共同作業によって良好な景観などの多面的機能を発揮しており、都市地域の住民にとっても貴重な資源であるといえます。こうした地域の財産や資源を有する『故郷』を守るため、防災対策は重要な役割を果たしています。